

慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句・ことわざを取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『反りがあわない』

意味：気心があわないという意味。

ひとこと：刀の反り具合と、さやの反り具合があわないと、刀がうまくさやに納まらないことから。

使い方：彼とは反りがあわないのか、よくけんかになる。

『高根(たかね)の花』

意味：望んでも手に入れることの出来ない、価値の高いものという意味。

ひとこと：“高根”は“高嶺”とも書き、高い嶺に咲いている花は、なかなか手に入れられないことから。

使い方：世界一周旅行なんて、今の僕には高根の花だ。

『高をくくる』

意味：大したことはない、みくびること。

ひとこと：“高”はレベルのこと。類義語として“高がしれる”がある。

使い方：簡単なテストだと思って高をくくっていたら、ひどい点をとってしまった。

ことわざ

『三人寄れば文殊(もんじゅ)の知恵』

意味：平凡な人でも三人で相談すれば、良い知恵が出てくるものだ。という意味。

ひとこと：“文殊”とは知恵をつかさどる文殊菩薩(ぼさつ)のこと。

使い方：三人寄れば文殊の知恵だ、みんなで相談して解決しよう。